

K-168

CPS実習ユニットⅡ (メディカルコンソール)

12613-100 酸素ポンベ不要タイプ

12613-110 酸素ポンベ使用タイプ

取扱説明書

目次

- はじめに
製品の特長とご使用上の注意・各部名称…………… P.1
- ご使用前に
安全上のご注意…………… P.2
移動と設置に関してのご注意…………… P.3
- 実習の準備
吸引器の取り付け…………… P.4
吸引器の使用に関してのご注意…………… P.5
湿潤器の取り付け・電源、スイッチ…………… P.6
- その他
製造番号の表示・酸素ポンベの取り付け…………… P.7
LEDベッド灯(別売)の取り付け・引き出しユニット… P.8



この度はCPS実習ユニットをお買いあげいただきありがとうございます。
この装置はベッドサイドでの吸引や医療用機器の取り扱いを実習するためのトレーニング
機器です。ご使用にあたっては必ず取扱説明書をお読み頂き正しくご使用下さい。

⚠ 注意

この装置は実習トレーニング用につき人体には使用しないで下さい。

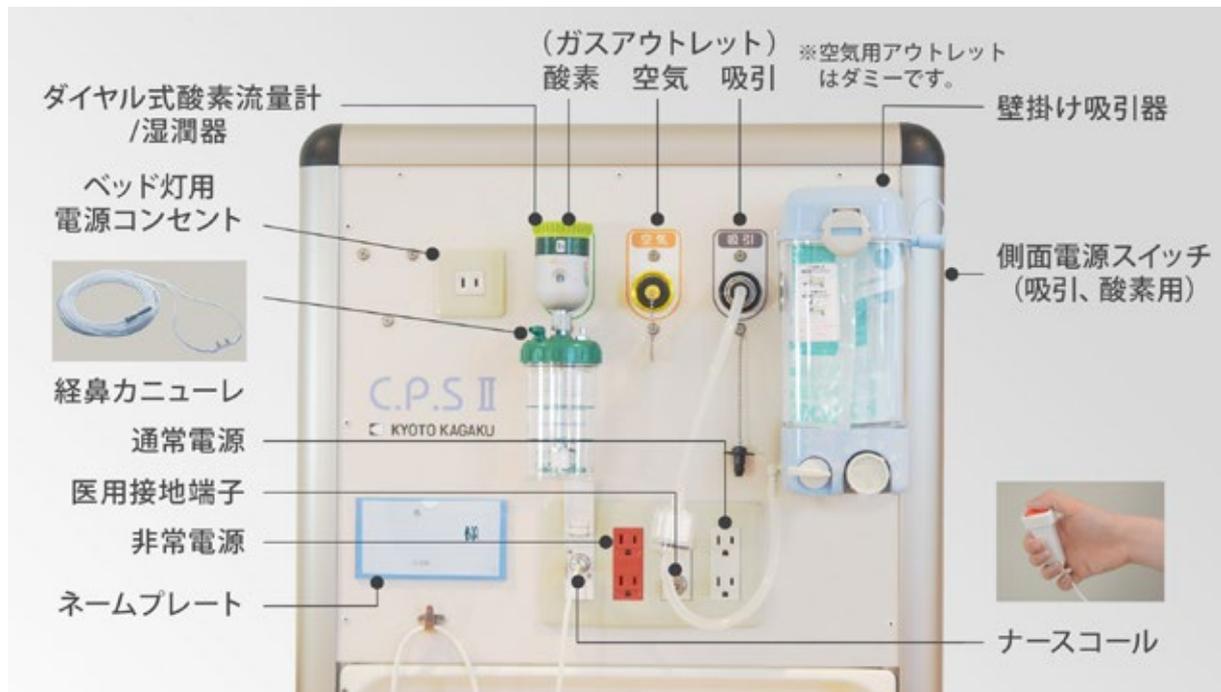
■構成

- CPS実習ユニット本体・・・・・・・・・・1台
- ダイアル式酸素流量計 / 湿潤器・・・・・・1点
- 壁掛け吸引器（ディスポーザブルタイプ）1点
- 吸引ポットライナー・・・・・・・・・・5枚
- 酸素供給用経鼻カニューレ・・・・・・・・1点
- 吸引器用コネクティングチューブ・・・・1点
- 取扱説明書

■仕様

サイズ：約W625×D39×H150cm
重 量：約53kg（酸素ポンペ不要タイプ）
電 源：AC100V 50/60Hz
最大消費電力：260W
※移動用キャスター、ストッパー、取手付

各部名称



ご使用前に

安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みの上で正しくご使用ください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■誤ったご使用により生じる危険や損害の程度を表すマークです。

 警告	誤った取り扱い方によって、火傷やケガ、火災や感電の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱い方によって、モデルやパーツの変形、破損が想定される内容を示しています。

■守っていただく事項の種類を表すマークです。

	してはいけない「禁止」の内容です。左図では「分解禁止」を示しています。
	必ず実行して頂く「強制」の内容です。左図では「必ず守る」を示しています。

 警告	
<p>●付属のアダプタ、電源コードをご使用ください</p> <ul style="list-style-type: none">・付属品以外のアダプタやコードを使用されますと、火災や感電の原因となり大変危険です。・付属のACアダプタを他の製品に使用しないでください。 <p> 故障や火災の原因になります。</p>	<p>●電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、傷つけるなどしないでください</p> <p> 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p>●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください</p> <p> やけど・ケガ・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>	<p>●指定の電源(日本国内はAC100V)以外では使用しないでください</p> <p> 故障や火災の原因になります。</p>
<p>●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください</p> <p> 感電の原因になります。</p>	<p>●電源プラグは、本体を持ち、確実に抜き差ししてください</p> <p> コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで火災や感電の原因になります。</p>
<p>●絶対に分解、改造しないでください</p> <p> 火災・感電・ケガの原因になります。修理の際は販売店又は(株)京都科学までお問い合わせください。</p>	<p>●火気類を近づけないでください</p> <p> 本体の変形や変色、電気系統のショートなど火災の原因になります。</p>
<p>異常が起きたら</p> <p> 異臭がするなど異常な状態に気付かれた場合は、速やかに対処いただき、お買い上げの販売店、もしくは(株)京都科学までご連絡ください。</p>	<p>モデル本体や制御ボックス等が熱くなったり、煙が出た時は速やかに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

移動と設置に関してのご注意

- ①段差などによる転倒を防ぐため、移動は必ず左右の取っ手を持って行って下さい。



- ②装置の背面に写真のようなストッパーがついています。吸引器や湿潤器等の取り付け時には必ず固定し、移動時は解除して下さい。



吸引器の取り付け

△注意 ストッパーを固定して行ってください。

①吸引器用のアウトレットつまみを右へ回しキャップを外します。



②壁掛け吸引器は必ず両手で持ち、確実にフックにかかるとように差し込みます。



③吸引器の接続チューブをアウトレットに差し込みます。



④次に吸引ポットライナーへ付属の透明チューブを接続します。
(カテーテルは付属していません)

⑤ご使用後など、吸引器を着脱するときは必ず両手で行って下さい。

※吸引器の取り扱い方法については付属の取扱説明書をご覧ください。

吸引器の使用に関してのご注意

吸引器のスイッチをOFFにしてから本体横の電源スイッチをOFFにすると、次回起動時に本体横の電源スイッチをONにした時、すぐにコンプレッサが起動しない場合があります。

本体横の電源スイッチをONにしてもコンプレッサの動作音がしない場合は、以下の方法によりコンプレッサが起動します。

- 10秒ほどそのままお待ちいただく
もしくは、
- 本体横の電源スイッチをONの状態にしてから吸引器をONにし、吸引圧を上げる

また、以下の手順でスイッチをOFFにすることで、タイムラグの発生を防ぐことができます。

- ① 本体横の吸引スイッチをOFFにします。
- ② 吸引器の吸引圧調節つまみを0まで下げてから、吸引器のを電源をOFFにします。



湿潤器の取り付け



湿潤器をカチッと音がするまで差し込みます。

※湿潤器の取り扱い方法については付属の取扱説明書をご覧ください。

電源、スイッチ

- ①電源用プラグは装置の背面にあるので、ゆっくり引き出して下さい。
収納時はまっすぐ一度に引くとスムーズに巻き取ります。



- ②電源スイッチは本体右側面にあります。



製造番号の表示

装置の背面コンセントボックスに
弊社製造番号が貼ってあります。
修理等はこの番号にご連絡下さい。



酸素ポンベの取り付け

下の黒いベルトで酸素ポンベをしっかり
固定して下さい。
移動の際はとりはずして下さい。
また、酸素ポンベは必ず医療用をご使用
下さい。



LEDベッド灯(別売)の取り付け

①本体のネジを利用しベッド灯に
付属している金具を固定します。



②金具に本体を差し込みコンセント
に電源プラグを差し込みます。



③完成

引き出しユニット

前面に引き出しユニットを
設けていますので、
ご使用にならない場合などに
器具を収納できます。



別売部品



LEDベッド灯
(LED ランプ付)
12613-120



吸引ポットライナー
排出タイプ (50枚入)
12613-130

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記 (株)京都科学まで御連絡ください。



株式
会社

京都科学

URL : <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail : rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL:075-605-2510 (直通)
FAX:075-605-2519

■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL:03-3817-8071 (直通)
FAX:03-3817-8075

2024.12